

「認識の生物学」

今日の講義は、前半は哲学的な内容に思えました。事物の認識について「認識を認識すること」など今まで意識したこともなく、先生の話の聞いているうちになるほどな、と思い、これが認識の認識なのだということも同時に感じました。それでもやはり私には難しい内容で、共感できる部分もあれば、関係が混乱する内容もありました。ただ、要素ごとではなく、全てのことは一連しているのだとわかりました。「まんだら」での考え方は私の中でとても新鮮で、大昔からそんな考え方があったのかと驚きでした。また、異なると認識していた事物同士を同じと考えることについては、今までにその方法で新しい発見をしたことが幾度かあったので、そのことを深く学べてよかったです。後半は電磁波の恐ろしさについて、とても身近で自分に関係のする話題だったので、できることならもっと講義を聴いていたいと思いました。携帯電話の電磁波についてそんなに研究をされていて「電磁波は人体に悪い影響を与える」と考えられる多くの結果が出ていたことを全く知りませんでした。恥かしい話ですが、電磁波のしくみさえわからないほどです。しかし、多くのデータを見てみると、電磁波の悪影響が私にもわかるほど明らかで、企業や政府に対して怒りを覚えました。先生のようにその危険性を訴える専門家がいる一方で、適当な検査で携帯電話という電磁波のかたまりを世に送り出したことが信じられません。いつから安全よりも利益や便利さを追求するようになったのか…と悲しく感じると同時に、今携帯電話がなくなると生活に多くの支障が出て、私たちは精神的に電磁波中毒に既になっているのではないかと思います。しかし、世界中の全ての人が一斉に携帯電話を捨て、本物の科学をもう一度考えられるようになれば、今からでも遅くはないと思います。もっと多くの人に研究結果を知ってもらい、先生の実体験を聞いてもらいたいと思いました。社会が知らせてくれていなかったからにしても、知らないということの恐ろしさを思い知りました。今は理解できるか不安な物理ですが、自分のためにも一生懸命勉強したいと思います。自分の身は自分で守る！というくらいの意気込みが無いと何十年か後に今のアスベスト問題のように訴訟を起こして慰謝料を請求している、なんてことになるかもしれません……。今日は自分にとっても、地球全体にとってもとても重要で深刻な話を聞かせていただき本当に感謝しています。すぐに捨てることは無理でも携帯電話を使う時間は今日から大幅に減ると思います。ありがとうございました。

